

米国ハイイールド債券ファンド 米ドルコース

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国ハイイールド債券ファンド 米ドルコース」は、2018年10月12日に第108期の決算を行いました。

当ファンドは、米ドル建ての高利回り事業債（以下「ハイイールド債」といいます。）を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年4月13日～2018年10月12日

第103期	決算日：2018年5月14日
第104期	決算日：2018年6月12日
第105期	決算日：2018年7月12日
第106期	決算日：2018年8月13日
第107期	決算日：2018年9月12日
第108期	決算日：2018年10月12日

第108期末 (2018年10月12日)	基準価額	6,900円
	純資産総額	9,736百万円
第103期～ 第108期	騰落率	5.2%
	分配金合計	420円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

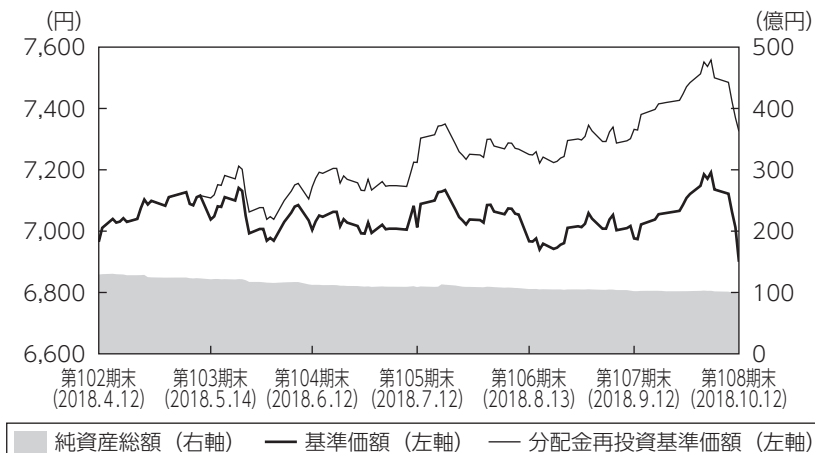
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第103期首： 6,965円
 第108期末： 6,900円
 (既払分配金420円)
 騰落率： 5.2%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

主に、「L A U Sハイイールドボンドファンド (米ドルクラス)」受益証券への投資を通じて、米国のハイイールド債券に投資を行った結果、市況が上昇したことや米ドルが対円で上昇したことなどから、基準価額 (分配金再投資ベース) は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第103期～第108期		項目の概要
	(2018年4月13日 ～2018年10月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	34円	0.477%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,043円です。
(投信会社)	(13)	(0.190)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(19)	(0.271)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	0	0.002	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(－)	(－)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(－)	(－)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	34	0.479	

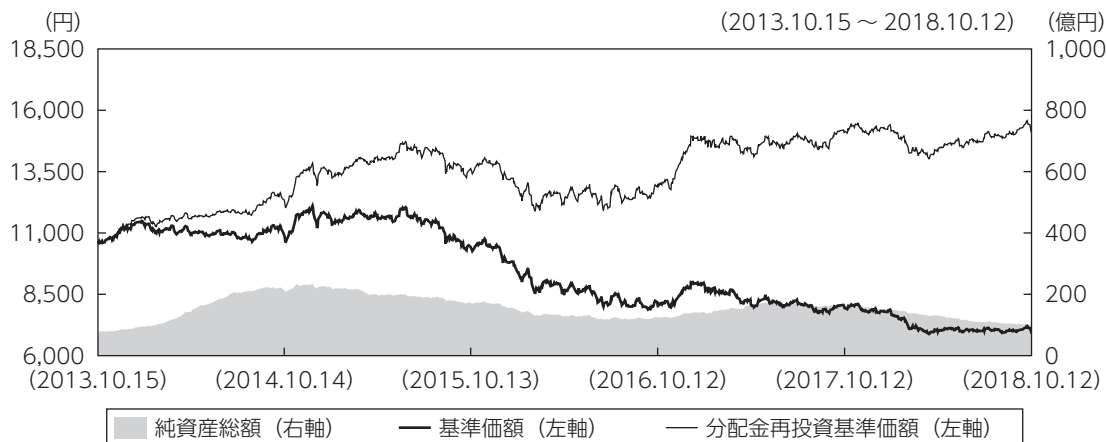
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2013年10月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

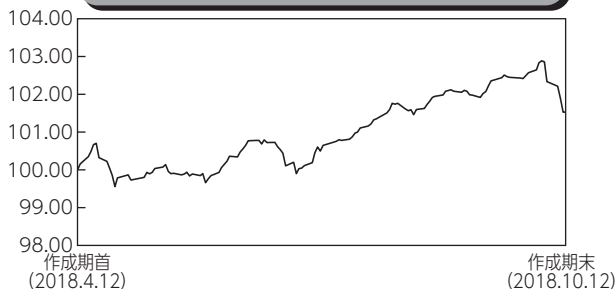
	2013年10月15日 期首	2014年10月14日 決算日	2015年10月13日 決算日	2016年10月12日 決算日	2017年10月12日 決算日	2018年10月12日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,574	10,910	10,426	8,072	7,937	6,900
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,360	1,650	1,800	1,450	990
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	16.7	10.4	△5.0	17.0	△0.4
純資産総額 (百万円)	7,822	21,355	17,183	12,359	16,146	9,736

(注) 当ファンドは、米ドル建てのハイイールド債を主要投資対象とし、保有資産に対し為替取引を行わない円建ての外国投資信託およびわが国の短期公社債等を主要投資対象とする円建ての国内籍投資信託への投資を基本としていますが、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境

● 海外債券市場

ハイイールド債市場の推移



- (注1) 当グラフは、ICE BofAML・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・コンストレインド・インデックス (米ドルベース) の前営業日の値を、当ファンドの作成期首の値を100として指数化したものです。
- (注2) ICE Data Indices, LLC ([ICE Data])、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne(株)又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

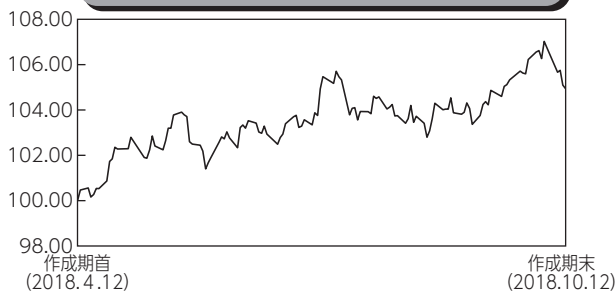
米国ハイイールド債市場は、上昇しました。

当作成期を通じて米国国債利回りが上昇（価格は下落）したことや、米政権運営を巡る不透明感や米中貿易摩擦への懸念などを背景にリスク回避の動きが強まったことなどが下落要因となった一方、米国ハイイールド債券からの安定したクーポン収入がプラスに寄与しました。対米国国債スプレッドについては、当作成期を通じてみると小幅に拡大しました。

格付別では、BB格、B格、CCC格全てがプラスとなり、中でもCCC格の上昇が顕著となりました。

業種別では、ヘルスケア、輸送、エネルギーセクターなどの収益性が市場平均を上回った一方、自動車、銀行セクターなどが市場平均を下回りました。

【米ドル】対円為替レートの推移



(注) 作成期首の値を100として指数化しています。

米ドルの対円相場は、上昇しました。
 米国経済が拡大基調を継続する中、米国株式相場が当作成期を通じておおむね堅調に推移したことや、米連邦準備制度理事会（F R B）が段階的な利上げを継続し、日米金利差の拡大が意識されたことなどが、上昇要因となりました。

※MHAM短期金融資産マザーファンドの投資環境については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

ポートフォリオについて

●当ファンド

「L A U Sハイイールドボンドファンド（米ドルクラス）」受益証券の組入比率を高位に維持しました。

●L A U Sハイイールドボンドファンド（米ドルクラス）

主として企業のファンダメンタルズ分析などに基づくボトムアップアプローチにより銘柄選択を行いました。

格付け別構成比率では、B格、B B格を中心としたポートフォリオを維持しました。

業種別構成比率では、エネルギー、ヘルスケア、素材セクターを高めとする方針を維持しました。

債券の組入比率は、当作成期中を通じて高位を維持しました。

保有資産に対する為替取引は行いませんでした。

上記の通り運用を行った結果、基準価額（分配金再投資ベース）は5.6%上昇しました。

主な変動要因は以下の通りです。

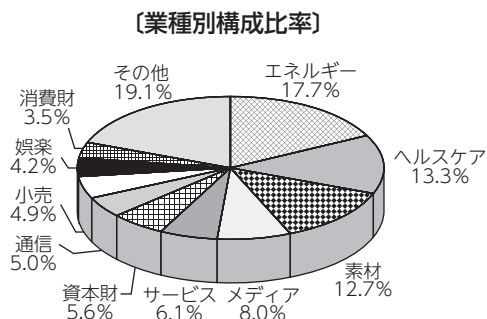
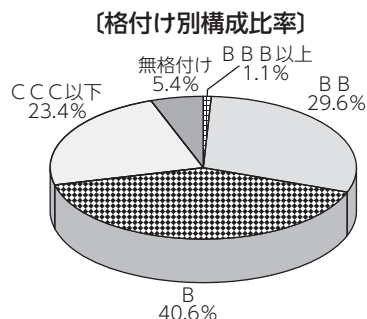
<主な上昇要因>

- ・米ドルが対円で上昇したこと
- ・米国ハイイールド債市場が上昇したこと

<主な下落要因>

- ・特にありません。

<ポートフォリオの概要> 2018年10月11日現在



【組入上位10銘柄】

順位	銘柄名	利率	償還日	格付け	比率	業種
1	TモバイルU S A	6.500%	2026/01/15	B B	0.8%	通信
2	H C A	8.360%	2024/04/15	B B -	0.8%	ヘルスケア
3	フリーポート・マクモラン	3.875%	2023/03/15	B B	0.8%	素材
4	テネット・ヘルスケア	5.125%	2025/05/01	B -	0.7%	ヘルスケア
5	ネットフリックス	5.875%	2025/02/15	B +	0.7%	メディア
6	C C Oホールディングス	5.875%	2027/05/01	B +	0.7%	メディア
7	センチュリーリンク	7.500%	2024/04/01	B	0.7%	通信
8	ピーボディ・エナジー	6.375%	2025/03/31	B B -	0.7%	素材
9	テスラ	5.300%	2025/08/15	C C C +	0.7%	自動車
10	ボンバルディア	7.500%	2025/03/15	C C C +	0.6%	資本財

(注1) 比率は、公社債等の評価総額に対する評価額の割合です。小数点第2位を四捨五入しています。なお、格付けはS & P、Moody'sのうち、低い方の格付けを採用しています（表記方法はS & Pに準拠）。

(注2) 業種別構成比率の業種は、ICE BofAML・インデックスセクター分類のレベル3（社債18業種）としています。

※MHAM短期金融資産マザーファンドのポートフォリオの状況については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

ベンチマークとの差異について

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載しておりません。

分配金

当作成期の収益分配金は、安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2018年4月13日 ~2018年5月14日	2018年5月15日 ~2018年6月12日	2018年6月13日 ~2018年7月12日	2018年7月13日 ~2018年8月13日	2018年8月14日 ~2018年9月12日	2018年9月13日 ~2018年10月12日
当期分配金（税引前）	70円	70円	70円	70円	70円	70円
対基準価額比率	0.985%	0.990%	0.988%	0.995%	0.993%	1.004%
当期の収益	41円	37円	39円	35円	38円	35円
当期の収益以外	28円	33円	31円	34円	31円	34円
翌期繰越分配対象額	1,026円	994円	963円	929円	898円	864円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「L A U Sハイイールドボンドファンド（米ドルクラス）」受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

●L A U Sハイイールドボンドファンド（米ドルクラス）

米国ハイイールド債を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。

米国の政治的要因や地政学リスクなどを背景に、株式市場が変動する可能性は意識しつつも、ファンダメンタルズは好調を維持していくと考えます。中長期的には、相対的に高い利回りを求める投資家需要が一定程度見込まれ、米国ハイイールド債市場は底堅く推移すると予想します。

業種配分では、ヘルスケアセクターについて、病院部門における売上の改善や同セクター全体に対する見通しの改善などから魅力が増しつつあると考え、組入比率を高めに維持する方針です。一方、通信セクターについては、価格競争の激化が企業の利益率の圧縮に繋がっていることなどを懸念し、組入比率を抑制します。

引き続き定性分析・定量分析に市場環境分析を加え、良質な資産と優良な経営陣を持つ企業を重点的に抽出し、的確な銘柄選択に努めることでリターンを追求して参ります。

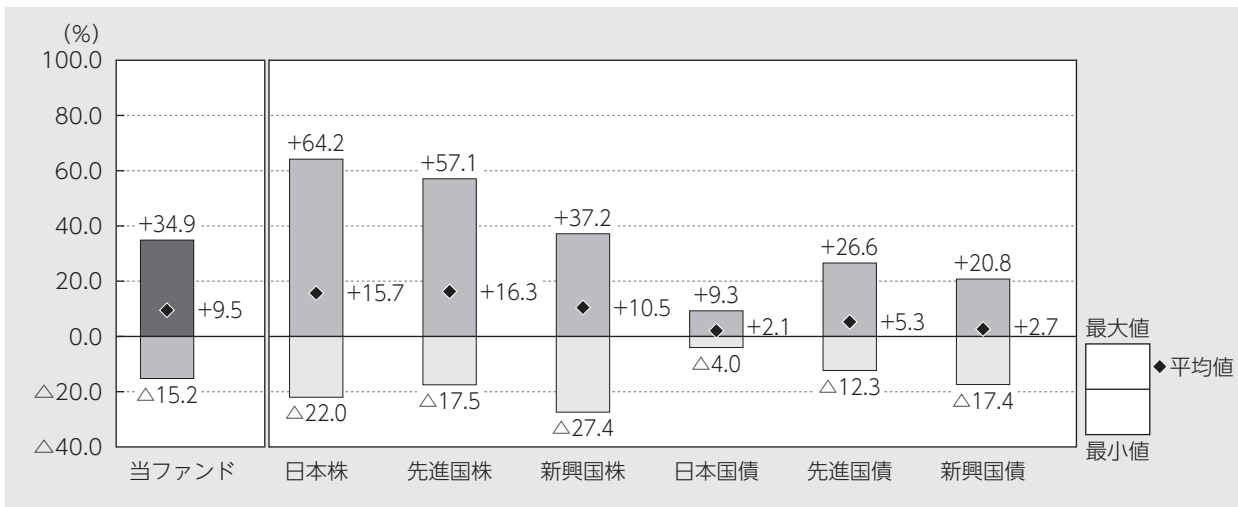
なお、保有資産に対する為替取引は行いません。

※MHAM短期金融資産マザーファンドの今後の運用方針については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2009年10月30日から2019年10月15日までです。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	米ドル建てのハイイールド債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	米国ハイイールド債券ファンド米ドルコース	円建ての外国投資信託である「LA USハイイールドボンドファンド(米ドルクラス)」受益証券(外国投資信託(米ドルクラス)とも言います。)および円建ての国内籍の投資信託である「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LA USハイイールドボンドファンド(米ドルクラス)	主として米ドル建てのハイイールド債を主要投資対象とします。
	MHAM短期金融資産マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	外国投資信託(米ドルクラス)への投資を中心に行います。 外国投資信託(米ドルクラス)では、保有資産に対し、原則として、為替取引(為替管理)は行いません。	
分配方針	第3期以降の毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として安定した収益分配を継続的に行うことを目指し、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2013年10月～2018年9月

(注1) 上記のグラフは2013年10月から2018年9月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2018年10月12日現在)

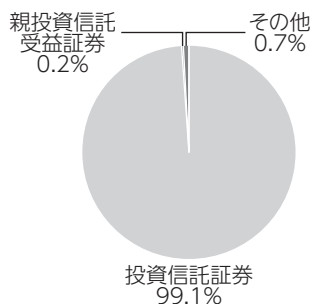
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

	第108期末
	2018年10月12日
L A U Sハイイールドボンドファンド (米ドルクラス)	99.1%
MH A M短期金融資産マザーファンド	0.2%

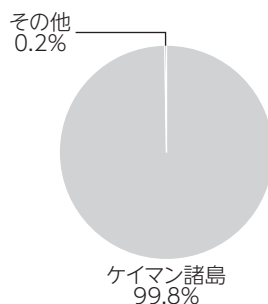
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

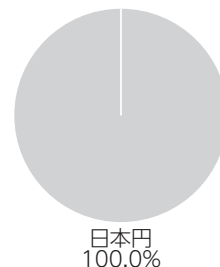
◆資産別配分



◆国・地域別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国・地域別配分についてはポートフォリオの合計 (除く現金) に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

純資産等

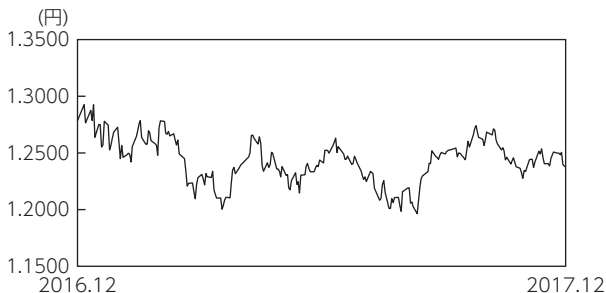
項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
	2018年5月14日	2018年6月12日	2018年7月12日	2018年8月13日	2018年9月12日	2018年10月12日
純資産総額	12,153,759,055円	11,245,489,174円	10,881,963,014円	10,562,932,994円	10,211,824,602円	9,736,673,759円
受益権総口数	17,269,426,136口	16,054,949,859口	15,518,311,395口	15,162,052,570口	14,638,457,211口	14,110,738,529口
1万口当たり基準価額	7,038円	7,004円	7,012円	6,967円	6,976円	6,900円

(注) 当作成期間 (第103期～第108期) における追加設定元本額は990,103,096円、同解約元本額は5,423,517,952円です。

組入ファンドの概要

【L A U Sハイイールドボンドファンド (米ドルクラス)】 (計算期間 2017年1月1日～2017年12月31日)

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

◆組入上位銘柄

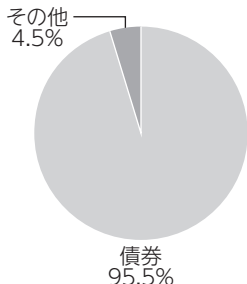
(組入銘柄数：536銘柄)

順位	種別	銘柄	比率
1	社債	NEPTUNE FINCO 144A 10.875% 10/15/25	0.9
2	社債	T-MOBILE USA IN 6.500% 01/15/26	0.8
3	社債	FREEPORT-MC C&G 3.875% 03/15/23	0.7
4	社債	ARCELORMITTAL 6.125% 06/01/25	0.6
5	社債	BOMBARDIER INC 7.500% 03/15/25 144A	0.6
6	社債	CCO HOLDINGS LLC 5.750% 02/15/26 144A	0.6
7	社債	TESLA INC 5.300% 08/15/25 144A	0.6
8	社債	HCA INC 5.250% 06/15/26	0.5
9	社債	PEABODY SEC FIN 6.375% 03/31/25 144A	0.5
10	社債	MGM RESORTS 6.000% 03/15/23	0.5

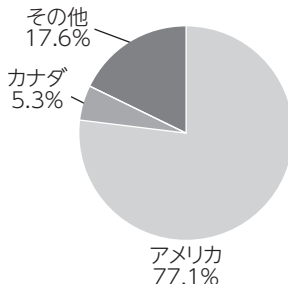
◆為替先渡取引

該当事項はありません。

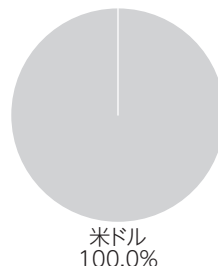
◆資産別配分



◆国・地域別配分



◆通貨別配分



(注1) 上記は、委託会社が入手した直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分、国・地域別配分および通貨別配分は、当ファンドの実質的な投資先である「L A U Sハイイールドボンドファンド」の内容になります。

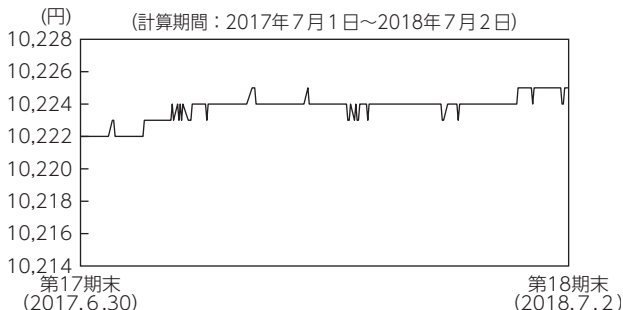
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国・地域別配分および通貨別配分については、投資有価証券の合計に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注5) 当ファンドが保有する組入全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

[MHAM短期金融資産マザーファンド] (計算期間 2017年7月1日～2018年7月2日)

◆基準価額の推移



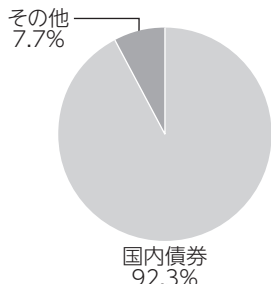
◆1万口当たりの費用明細
該当事項はありません。

◆組入上位銘柄

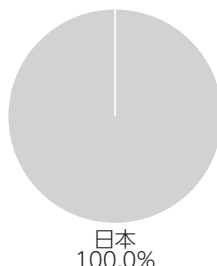
(組入銘柄数：15銘柄)

順位	銘柄	種別	利率	償還日	比率
1	平成20年度第5回 埼玉県公募公債	地方債	1.73%	2018/11/27	10.4%
2	第161回 神奈川県公募公債	地方債	1.57%	2019/03/20	10.1%
3	第346回 九州電力社債	普通社債	2.00%	2018/10/25	9.1%
4	第16回 国際協力機構債券	特殊債 (金融債以外)	0.30%	2018/12/26	8.9%
5	平成20年度第3回 千葉県公募公債	地方債	1.78%	2018/07/25	8.5%
6	平成21年度第3回 千葉県公募公債	地方債	1.64%	2019/06/25	8.3%
7	平成25年度第12回 京都府公募公債	地方債	0.22%	2018/12/20	7.5%
8	平成20年度第8回 千葉県公募公債	地方債	1.48%	2019/02/25	6.1%
9	平成21年度第2回 千葉県公募公債	地方債	1.57%	2019/05/24	5.1%
10	平成21年度第2回 愛知県公募公債 (10年)	地方債	1.56%	2019/05/28	5.1%

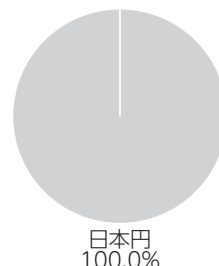
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計 (除く現金) に対する割合です。

(注3) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注4) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

